

2019年度 四輪車国内需要見通し

2019年3月25日

一般社団法人 日本自動車工業会

単位：台

			2017年度 A	2018年度 B	2019年度 C	対前年比 %	
				見込み	見通し	2018年度 B/A	2019年度 C/B
四 輪 車	乗 用 車	普通・小型四輪車	2,895,738	2,912,000	2,910,000	100.6	99.9
		軽四輪車	1,454,039	1,521,000	1,458,000	104.6	95.9
		計	4,349,777	4,433,000	4,368,000	101.9	98.5
	ト ラ ック	普通車	173,017	181,000	176,000	104.6	97.2
		小型四輪車	254,508	260,000	252,000	102.2	96.9
		軽四輪車	404,836	440,000	414,000	108.7	94.1
		計	832,361	881,000	842,000	105.8	95.6
	バス		14,971	13,600	13,400	90.8	98.5
		合計	5,197,109	5,327,600	5,223,400	102.5	98.0
	登録車	3,338,234	3,366,600	3,351,400	100.8	99.5	
	軽四輪車	1,858,875	1,961,000	1,872,000	105.5	95.5	

注：輸入車を含む。

車種別需要動向

1. 普通・小型四輪乗用車

- 1) 2018年度の普通・小型四輪乗用車需要は2,912千台・前年度比100.6%と見込まれる。緩やかな景気拡大により、微増となる見込み。
- 2) 2019年度については、2,910千台・前年度比99.9%と見込まれる。
景気拡大傾向が緩まり需要の押し下げはあるものの、自動車税の恒久減税、環境性能割の軽減措置により、ほぼ横ばいとなる見込み。

2. 軽四輪乗用車

- 1) 2018年度の軽四輪乗用車需要は1,521千台・前年度比104.6%と見込まれる。緩やかな景気拡大、新型車効果による需要押し上げにより、前年度を上回る見込み。
- 2) 2019年度については、1,458千台・前年度比95.9%と見込まれる。
景気拡大傾向が緩まり需要は押し下げられるものの、軽自動車税環境性能割の軽減措置等により、若干の減少にとどまる見込み。

3. 普通トラック

- 1) 2018年度の普通トラック需要は、181千台・前年度比104.6%と見込まれる。緩やかな景気拡大、排ガス規制強化の影響により前年度を上回る見込み。
- 2) 2019年度については、176千台・前年度比 97.2%と見込まれる。
排ガス規制強化の駆け込み需要からの反落、建設需要の落ち着き、およびドライバー不足の深刻化等により、前年度を下回る見込み。

4. 小型四輪トラック

- 1) 2018年度の小型四輪トラック需要は、260千台・前年度比102.2%と見込まれる。緩やかな景気拡大、排ガス規制強化の影響により前年度を上回る見込み。
- 2) 2019年度については、252千台・前年度比 96.9%と見込まれる。
排ガス規制強化の駆け込み需要からの反落、法人の買い替え需要の一巡等により、前年度を下回る見込み。

5. 軽四輪トラック

- 1) 2018年度の軽四輪トラック需要は、440千台・前年度比108.7%と見込まれる。安全装備の充実による商品力向上、新型車効果、および小口配送の物流需要増加の影響により、前年度を上回る見込み。
- 2) 2019年度については、414千台・前年度比94.1%と見込まれる。
買い替え需要が一巡すること、及び小規模商店や農家世帯の減少等の構造的な要因により、前年度を下回る見込み。

6. バス

- 1) 2018年度のバス需要は、13.6千台・前年度比90.8%と見込まれる。買い替え需要等が一巡したこと、およびドライバー不足の深刻化の影響等により、前年度を下回る見込み。
- 2) 2019年度については、13.4千台・前年度比98.5%と見込まれる。買い替え需要等が落ち着くことにより、前年度を下回る見込み。